

職員の方でも気軽に
ランプ交換が可能です。



(株)南州電設
工事管理課 管理部長

田實 邦浩さま



(株)南州電設
営業部長

石井 義昭さま

田實さま：体育館などの高天井用器具を使用する物件では、やはりメンテナンスコストが問題になってくることが多いです。そこでこちらの体育館ではオートリレー付の器具を使って職員の方でも簡単にランプ交換や清掃ができるようにし、保守メンテナンス効率を上げました。オートリレー付なら、その後のことを考えるとコスト面でも経済的ですね。昇降操作盤は体育館内の教官室に設置しているため、職員の方が確認しながらランプを下ろして作業ができるようになっています。ランプは水銀とハロゲンランプを30灯ずつ設置して、混光照明にしています。

石井さま：逗子開成学園様が開校百周年記念事業ということで、校舎と併せ、今回の体育館の耐震補強・改修工事の竣工となりました。器具色と天井の色を合わせたりと、デザイン的にもすっきりとまとまっていますね。実際に使用されている生徒さんにも好評ということで、まずはほっとしています（笑）。



オートリレー付高天井用器具を全部で60灯設置。400W水銀ランプと500Wネオハロゲンランプ



天井の赤く塗られた梁に沿って、400W水銀ランプと500Wネオハロゲンランプを左右に配置



器具にはボール等が当たることを考え、ガードを付けて破損防止としている



器具色と天井色を同色にし、すっきりとした天井を演出

テナンス性アップ



をベアにし、それぞれ30灯ずつ配置して混光照明にしている

現在の業界の“流れ”をお客さまへ提案できるように、常に努めています。

(株) 南州電設
代表取締役

田實 行利さま

当社で主に扱う物件は、遊戯場やボウリング場といったサービス業が多いんです。そのためどうしても工期が短くなりがちです。ですからお客さまとじかに接して綿密な打合せを行って先方のご要望を汲み上げ、それに応じたこまめな提案をいつでも行えるようにということをや心掛けています。例



えばサービス業の施設に関しても、5~6年前は蛍光灯主体だったのが現在はダウンライト主体になるなど、業界の流れが変わってきているんですね。そういった現在の流れをお客さまへ提案できるように、常に努めています。

また「流れをつかむ」という意味で、ITに関してはかなり積極的に導入を進めています。例えば“図面を早く、誰でも描けるように”ということでCADは13年程前から始めていますし、4~5年前には社員1人につき1台のコンピュータ、さらに1年前にホームページを開設しています。

さらにそこから一歩進めて、現在では電気工事に留まることなく、ハードやソフトの開発なども積極的に行っています。この間も、さる大手メーカーに指紋認証システムを納入させていただきました。今度はハードを自社ブランドで売り出そうか、ということをお客さまへ現在検討中なんですよ。



■施工物件
学校法人 逗子開成学園体育館
■建物の概要
所在地：神奈川県逗子市新宿2-5-1
延床面積：2,194.192㎡
構造・規模：鉄骨造・平屋建
設計・監理：(株)日建設計
施工：鹿島建設(株)
協力会社 電気：(株)南州電設
竣工：平成15年2月

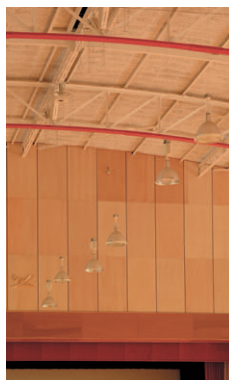


神奈川県／横浜市
株式会社南州電設

■会社のプロフィール
所在地：横浜市港南区港南台8丁目11番5号
南州ビル
従業員：15名
営業種目：総合電気設備工事・設計・施工
・保守管理
年商：9億400万円
創立年：昭和47年



教官室にある昇降操作盤。
ラインごとの昇降も可能



(左) 器具の降下状態

(右) 器具は任意の高さで
停止できる